

文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

当委員会は、「幼稚園のあり方について」を年間の研究テーマと定め、定期的に協議を重ねてきました。市内幼稚園・保育園のこども園化に伴い、空き施設となる建物等の跡地利用について、議会報告会からの市民意見も踏まえて、当局と意見交換を行いました。

当局より、「旧睦浜幼稚園舎については、庁内と地元に対し活用の意向調査を行ったが、要望がなかったため、解体することになったことと、解体費については数千万円かかると予想され、建物を維持管理する場合は毎年200万円から300万円を要する。今後、こども園化に伴う空き施設は、地元への活用意向調査等を丁寧に行っていきたい。」という説明がありました。

議会報告会では、市民の皆さんからは有効活用を望む声、施設の耐震性を心配する声、さら地にして売却することを望む意見もありました。



お茶が飲めるカウンターや和室などがあるふれあい活動室を視察（三重県亀山市立川崎小学校）



災害時に飲料水として利用できるプール棟を視察（三重県亀山市立川崎小学校）



湖西市議会で教育施設の公共施設マネジメントについて視察



旧小学校施設をリノベーションした複合施設を視察（愛知県春日井市グルッポふじとう）

まとめ

～今後空き施設となる施設の利活用について～

- 市民に対して、市の方針を早めに伝え、維持費や解体費等も示し、理解を得ること。
- 地区が必要な施設として利用を考えた場合は、その運営については市も交え、地域住民が研究し維持管理費等も自立した形で賄えるように考えていくこと。
- さら地にして、売却も選択肢とすべきこと。